



### 令和6年度 8月の園だより

#### 平和を思うとき

もうすぐ広島は、原爆投下から79回目の広島平和記念の日を迎えます。年長しろ組さんは戦争に関する絵本を読んでもらってから、佐々木禎子さんの千羽鶴に関心を持ち、鶴を折ることができる友だちに聞きながら作り始めているようです。子どもたちは平和公園に家族で行ったことや原爆ドームを見たことなども話しているようですが、いろいろなことを感じながら一羽ずつ折っているのだと思います。これから先の未来も、子どもたちが安心してご飯をいっぱい食べて、いっぱい遊んで、へとへとになって眠りにつく、そんな当たり前な平和な日々がずっと続きますように。世界中から争いごとがなくなり、誰もが無邪気に笑っていただけることを願っています。

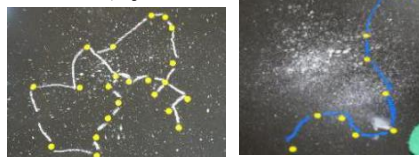
先日、事務所まで聞こえてきた子どもたちの会話です。「いち、に、さん…その次は?」「しーよ。」「ごー、ろく…。」見てみると、担任が来るまでの間、園庭から帰ってきた子どもたちが数をかぞえながら階段に順番に並んで待っていたのです。可愛いすぎます。

しろ組さんのビュッフェ給食の場面では、並んでいた子どもの数とお皿に並んだデザートの数合わないことを「先生、バナナがあと2個足りないよ。」と、教えてくれたり、シュガースポットを指さしながら、「どのバナナが甘いと思う?」などと、やり取りしていました。また、赤組さんは、養生テープだらけの自分で作った自慢の剣を、誰か気づいてよ〜とでも言うように、振り回しながら持って帰っていました。右の写真は、しろ組さんがプラネタリウム見学に行ったあと、夏の夜空に興味を持った子どもたちが、図鑑を見ながら星座を見立てたものです。保育室に飾られた作品は、どれも個性豊かで同じものはありませんでした。



興味を持ったこと、関心のあることがとことんできる環境は、子どもたちの心をわくわくさせて、知りたいこと、やってみたいことを深めています。

何座かな?  
想像してみてください  
さいね。



日々の生活やあそびの中で、数を知り、字を覚え、素材の特性までも理解しています。子どもの表情を見てると今日も一日、生きいきと好きなことをして過ごしたのだなということが想像できて幸せな気持ちになります。

また、夏休みになって、園には“保育のお仕事体験”の高校生が来ています。赤ちゃんが穴の大きさよりも大きなボールを手に取り、穴の中に入れようとするのだけど、なかなか入らないという場面を高校生が見守りながら、「学び!!」とつぶやいたり、「小さい頃からいろいろなことに興味を持ち、知ろうとする姿はとてもいいなと感じた」「自分もこうやって大きくなったんだ」と、感想を寄せてくれています。学び!? 凄い! わかってる! 今回の体験を通して感じたことを大事にして、次世代を担っていく高校生たちにも、粘り強く逞しく、楽しい人生を切り開いていってほしいと思います。

毎日、異常な暑さが続いています。今年は10年に一度の酷暑と言われていて、戸外に出るとモワツとした熱風が襲ってきて怖いくらいです。水あそびは、気温や水温とにらめっこしながら、朝の早い時間に行うときもありますが、水道から出てくる水の温度はすでにぬるま湯です。熱中症警戒アラートが出ているようなときは、涼しい室内で夏のあそびを工夫して、無理をしないようにしていきます。まだまだ、体力を奪われる暑い日は続きます。十分な睡眠と朝ごはん、そして、お子さんの体調に少しでもいつもと違う様子があるときは必ず伝えてください。園長

#### 第二みみょうこども園の

#### ハッピー☆

#### 1日保育体験 ～次世代育成～

先月、県エのお兄ちゃん・お姉ちゃんが1日保育体験に来ました。子どもたちはすぐ、仲良くなり、たくさんの笑顔とハッピーが見られました。



「おねえちゃんがみえるよ」



「もういっかいするからみてみて」



「おにいちゃんはつよいし  
てもおおきいなあ」



「あのね きいててよ」



「いっしょにいこう」

少子化社会の中で、異世代と触れ合う経験が少なくなっていることを踏まえ、高校生の保育体験の参加を行っています。また、乳幼児の成長や発達を理解だけでなく、将来、社会で次世代を育成していく立場に立つ高校生が、社会の一員として、自分の立場や役割を認識して行動できる大人になってほしいという願いも込められています。そして、高校生の中には卒園児もいて、懐かしくあの頃の卒園アルバムをみると、将来の夢のページには、「ほいくしになりたい」と、書いてありました。主任保育士

